

A large blue abstract graphic on the left side of the page, consisting of several overlapping, curved, horizontal bars of varying shades of blue, creating a sense of depth and movement.

PV-WAVE

リリースノート バージョン 2016.1

November 2016

目次

はじめに	3
PV-WAVE 2016.1 の新機能と強化.....	3
PV-WAVE 12.0 の新機能と強化.....	3
PV-WAVE で求められるオペレーションシステム(OS)とハードウェア	5
オペレーションシステム	5
必要なディスク容量	6
コンパイラの互換性	6
データベースの互換性.....	7
PV-WAVE Eclipse プラグイン 2.0.....	7
カスタマーサポート	7

はじめに

この [PV-WAVE 2016.1_Release_Notes.pdf](#) には、PV-WAVE 2016.1 と前バージョンの技術的変更点の概要が含まれています。利便性を考え、このファイルはオンラインで提供されます。全ての変更点の詳細は Update Notice ([PV-WAVE 2016.1_Update_Notice.pdf](#))をご参照ください。新機能とキーワードのドキュメントはオンラインマニュアルの [New Features](#) をご参照ください。

このドキュメントには新機能の概要に続き、このリリースで求められるオペレーションシステムとハードウェアの情報が含まれています。

PV-WAVE 2016.1 の新機能と強化

- システム変数 !VERSION にRELEASE_NAME タグを追加
 - これまでのリリース名との相関を保つ為に新しいタグを追加
- 新しい PHOTO OPI (Optional Programming Interface) モジュール
 - IMAGE OPIモジュールで使い慣れたAPIがベース
 - 64-bit プラットフォームをサポート
 - より大きなピクセルデータサイズをサポート
 - パフォーマンスとエラーチェックの強化
 - 強化された機能
 - 連続したイメージの読み込み
 - 読み込み時に関心領域(ROI)を指定
 - 将来新しいイメージフォーマットを追加しやすくするためのPV-WAVEの整備
- JWAVE 接続の強化
 - Java 8 と ブラウザーのセキュリティ中断からのより良い回復
- Mac OS のコンパイラを CLANG に変更
 - このデフォルト Mac OS コンパイラですべてのビルドを実施
- ドキュメント、例題、アプリケーション間通信のデモを更新
 - ドキュメント内の例題は修正なしでPV-WAVEのプロンプトから実行できる
 - 使いやすさ向上と新しいコンパイラ使用のため、アプリケーション間通信のデモドキュメントとユーティリティを更新
- Linux および Mac OS: リンクされたMotifライブラリを2.3.3から2.3.6へアップデート
 - 安定性と可用性の強化
 - Linux Motif ライブラリとそれを生成するためのソースコードがインストールに含まれる。詳細はインストールガイド(英語版)のLinking External Applicationセクション参照
- 全般的な品質の向上

PV-WAVE 12.0 の新機能と強化

- Linux 32 と 64-bit コンパイラを Oracle Solaris Studio 12.4に変更
 - GNUコンパイラの浮動小数点演算の正確性問題を解決

- この変更によるシステムライブラリに関する議論は、**英語版インストールガイドの *Unix/Linux Installation*** セクションにあります。
- この変更によりwvsetupファイル内に2つの環境変数が追加されました。もしカスタマイズしたwvsetupをお使いの場合は、Linux環境やマルチコアでのパフォーマンスのロスをなくすために、bin/make_wvsetupコマンドを使ってwvsetupファイルを再生成してください。
- 64-bit Linux でのMotifバージョン競合回避
 - OpenMotif 2.3.3 をカスタムビルドし、PV-WAVEに静的リンク
 - **英語版インストールガイドの *Unix/Linux Installation*** セクションを参照、また詳細情報については **Application Developer Guide の *Inter application Communication for UNIX*** セクションを参照
- WwList ウィジェット(widget) の過剰なリフレッシュ問題を、リストの内容を更新する際に一括更新することにより解決
 - WwSetValueはリストウィジェットのデフォルト動作になった
 - WtList および WwListUtils の過剰リフレッシュを避けるためのコーディングティップスはオンラインヘルプ のNOTE をお読みください
- MEDIAN 関数の正確性の向上
 - 内部計算で倍精度演算を実施
 - 以前のPV-WAVEバージョンとの互換性を考え、戻り値は単精度浮動小数点型。
Same_type キーワードを使えば異なる型のデータを返す
- HPGL および PCL ディスプレードライバーは非推奨
 - これらのドライバーを今後も利用したい場合は弊社サポートまでご連絡ください。このメッセージを無効にする方法をお知らせし、今後もこれらのドライバーのサポートを継続します。
- JWAVE Client 構成の強化
 - サーバ接続情報の自動検出の強化
- JWAVE Server 構成を強化しクラウド上でのサーバを許可
 - SERVER_IP パラメータを Manager Configuration Properties に追加
 - 正しいサーバアドレスを決定するための内部メソッドを追加
- SIZEOF をユーザライブラリから標準ライブラリへ昇格
 - PV-WAVE 変数のサイズを決定する使いやすいルーチン
- ImageMagick ライブラリの更新 - イメージモジュールを v 3.7.3 からv 6.9.2-7へ
 - イメージ形式毎の様々なライブラリの更新
 - イメージの読み込スピードを強化
 - カラー操作の正確性の強化
 - IMAGE_READで Verboseキーワードを使った時の出力の拡張
 - IMAGE_READ ルーチンのUnmap キーワードはデフォルトの動作になった為無視されます。詳しい情報は**New Features Guide** の*Deprecated Routines* セクションをご覧ください。
 - IMAGE_READ および DC_READ_TIFF ルーチンのOrder キーワードは、イメージファイル中にある情報から適当なイメージの方向性が十分に決定できるため、無視されます。詳しい情報は**New Features Guide** の*Deprecated Routines* セクション をご覧ください。

NOTE: このバージョンのImageMagick ではUNIX shellとの相互作用による脆弱性があることが報告されています。今回、ImageMagickそのものの修正は行われていませんが、PV-WAVEではImageMagickライブラリ内のこの機能を使用不可にすることにより、脆弱性を排除しています

- DICM ファイルの操作強化
 - イメージを読み込むときのスピード強化
 - イメージタグ操作の強化
- PLOT コマンドで無効なデータ値の処理強化
 - データ範囲を正しくセット
 - 無効な値は適切に無視される
- Windows プラットフォームでアンインストーラの強化
 - Javaインストールが求められることはない
 - アンインストール後に残るディレクトリを削減
- 一般
 - 多くのユーザーからの問題や機能強化に対応
- プラットフォームの更新
 - Windows 10 サポートの追加

PV-WAVE で求められるオペレーションシステム(OS)とハードウェア

オペレーションシステム

PV-WAVE 2016.1 は、以下のOSをサポートしています。詳細は [Supported Platform](#) をご覧下さい。

OS レベル	プラットフォーム	PV-WAVE ビット-サイズ バージョン
MS Windows 7 SP1/10	x86-64 (AMD64)	64
MS Windows 7 SP1/10	x86	32
Red Hat Enterprise Linux 7.1	x86	32
Red Hat Enterprise Linux 7.1	x86-64 (AMD64)	64 ^{※1}
SUSE Linux Enterprise 12.0	x86	32
SUSE Linux Enterprise 12.0	x86-64 (AMD64)	64 ^{※1}
CentOS Linux 7	x86-64 (AMD64)	64 ^{※1}
Solaris 10	SPARC	32 and 64 ^{※1}
Mac OS 10.10	x86-64	64 ^{※1}

※1 HDFはPV-WAVEの64bit版でのみサポートしています。

PV-WAVEは下位バージョンのOSでも動作するかもしれませんが予期せぬ動作を起こす可能性があります。下位バージョンのOSはサポート対象ではありません。

Windows環境以外でPV-WAVEをご利用の場合は、X11とMotif ライブラリが必要です。

WINDOWSに関する注意: PV-WAVE カーネルとオプションDLLは共にVisual Studio2013でビルドされました。

上記サポート対象外の環境でPV-WAVEのご利用をご希望の場合は、ログウェーブ ソフトウェア ジャパン 営業部 (03-5211-7760 / sales@roguewave.jp) までお問合せ下さい。

必要なディスク容量

インストールには最小で 150MB、フルインストールで 500MB 必要です。フルインストールには全ての製品とドキュメントが含まれます。

コンパイラの互換性

PV-WAVE は次のコンパイラをサポートしています。

OS レベル	プラットフォーム	C コンパイラ	Fortran コンパイラ
Red Hat Enterprise Linux 7.1	Linux (32/64)	Oracle Solaris Studio 12.4	Oracle Solaris Studio 12.4
SUSE Linux Enterprise 12.0	Linux (32/64)	Oracle Solaris Studio 12.4	Oracle Solaris Studio 12.4
CentOS Linux 7	Linux (64)	Oracle Solaris Studio 12.4	Oracle Solaris Studio 12.4
Solaris 10	SPARC (32/64)	cc (Forte10 – Sun C 5.7)	f77 (Forte10 – Sun Fortran 95 8.1)
Windows 7 SP1/8.1/10 (32-bit) Windows 7 SP1/8.1/10 (64-bit)	Intel x86/x64	MS Visual Studio 2013	Intel Visual Fortran Composer XE 2013 SP1
Mac OS 10.10*	Mac OS	CLANG 7.0.2	gfortran

*印はPV-WAVE 2016.1で更新されたOSやコンパイラ

特定のリンカ/ローダが記述されていない場合、コンパイラが提供するリンカ/ローダが使用されています。上記以外のコンパイラとリンカ/ローダを使ってコンパイル・リンクを行っても構いませんが、コンパイラやリンカ/ローダの実装の違いは PV-WAVE の異常な動作の原因になる事があります。もし問題が発生した場合は、コンパイラやリンカ/ローダを提供しているベンダーに問い合わせるか上記のユーティリティに切り替えてください。

データベースの互換性

PV-WAVE のデータベースコネクションは以下のデータベースシステムをサポートしています。

プラットフォーム	OSレベル	Oracle	Sybase
SPARC	Solaris 10	ORACLE 11.2.0.1	Sybase 12.0.0 (32-bit Solaris only)
Intel /Opteron	Red Hat Enterprise Linux 7.1 SUSE Linux Enterprise Server 12.0	ORACLE 11.2.0.1	

PV-WAVE は、上記以外の OS と DBMS レベルでも動作するかもしれませんが、DBMS バージョンの実装の違いは PV-WAVE の異常な動作の原因になる事があります。もし問題が発生した場合は、DBMS を提供しているベンダーに問い合わせるか上記のユーティリティに切り替えてください。上記以外のデータベースマネジメントシステムもPV-WAVEと接続できるかもしれません。詳細は、ローグウェーブ ソフトウェア ジャパン 営業部 (03-5211-7760 / sales@roguewave.jp) までお問合せ下さい。

PV-WAVE Eclipse プラグイン 2.0

Eclipseプラグインご利用にはJava JDK 1.6以降、および Eclipse 3.5.1以降のバージョンが必要です。

Java は www.java.com から入手できます。

Eclipse は www.eclipse.org から入手できます。

カスタマーサポート

インストールや PV-WAVE 製品に関するご質問は カスタマーサポートセンター (03-5211-7761 / support@roguewave.com)までご連絡ください。